

公益社団法人日本青年会議所

2022年度社会グループ ベビーファースト委員会



ベビーファースト



このロゴを
探してみてね!

あなたもベビーファースト運動に
参加してみませんか?

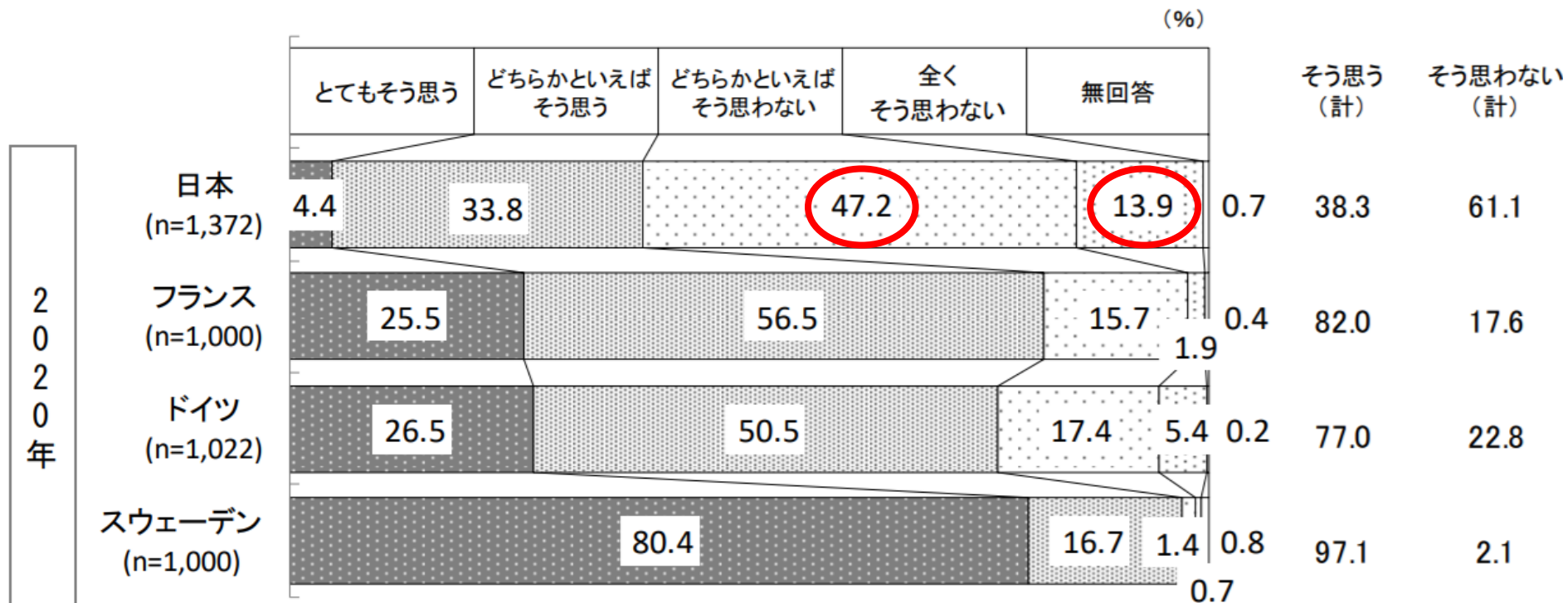
<https://babyfirst.jp/>

ベビーファースト
わたしたちも応援しています

日本は子育てがしやすい国でしょうか？

6 割以上の国民が子供を産み育てにくいと感じている

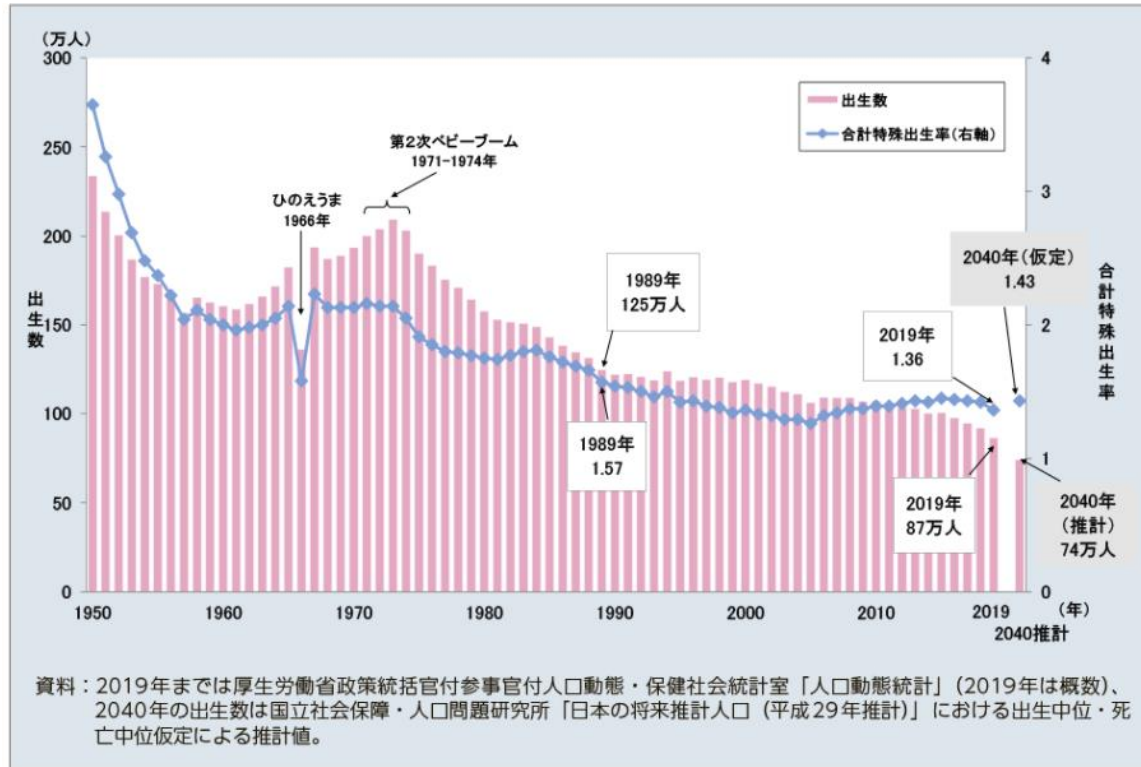
図V－1 子供を生み育てやすい国だと思うか（4 か国比較）



日本について過去の結果と比較すると、『そう思う（計）』の割合が2010年度調査以降10ポイント以上減少している（2010年：52.6%→2015年：46.6%→2020年：38.3%）。（図V－2）

日本の出生数

- ・ 2020年の出生数は84万人。20年で40万人以上減
- ・ 毎年過去最低を更新し、6月の出生数発表はネガティブ報道に



出生率・合計特殊出生率の推移
(厚生労働省)

<https://www.tokyo-np.co.jp> > ar...

日本「子どもを育てにくい」6割 内閣府意識調査、欧州と比べ突出：東京 ...

5 日前 — 内閣府の国際意識調査で、日本人回答者の6割が「子どもを産み育てにくい国」と感じていることが11日明らかに ...

<https://kumanichi.com> > articles

日本「子どもを育てにくい」6割 | 熊本日日新聞社

日本「子どもを育てにくい」6割. 内閣府意識調査、欧州と比べ突出. 共同通信 | 05月11日 21: 18. 子どもを産み育てやすい国だと思うか. 内閣府の ...

<https://www.hokkoku.co.jp> > tym

日本「子どもを育てにくい」6割 内閣府意識調査、欧州と比べ ... - 北國新聞

5 日前 — 内閣府の国際意識調査で、日本人回答者の6割が「子どもを産み育てにくい国」と感じていることが11日明らかになった。

<https://www.saga-s.co.jp> > articles

日本「子どもを育てにくい」6割 内閣府意識調査、欧州と比べ ... - 佐賀新聞

5 日前 — 内閣府の国際意識調査で、日本人回答者の6割が「子どもを産み育てにくい国」と感じていることが11日明らかに ...

赤ちゃんとその親が尊重される文化を

とはいえ・・・

84万人もの赤ちゃんが誕生していることも事実
本来であればハッピーなこと



これからの日本を支える赤ちゃん。
そんな赤ちゃんを命を懸けて産み育む、お母さん、
お父さんが尊重される文化をつくりたい。

運動のコンセプト

赤ちゃんハッピーで、 みんなハッピー。

ベビーカーと一緒にバスに乗って
周りに「ごめんなさい」と言うパパとママ
一生懸命働いて、一生懸命赤ちゃんを育てる人に
冷たい社会になっていないだろうか

ちがう

子育てはハッピーでなければいけない
赤ちゃんという宝物を産み、育てている人を
みんなで敬い、祝福できる社会がいい

身近なところから、私たちはできる
赤ちゃんにやさしいアクションと笑顔で
社会を溢れさせよう

子育てが幸せを生み出し続ける未来のために

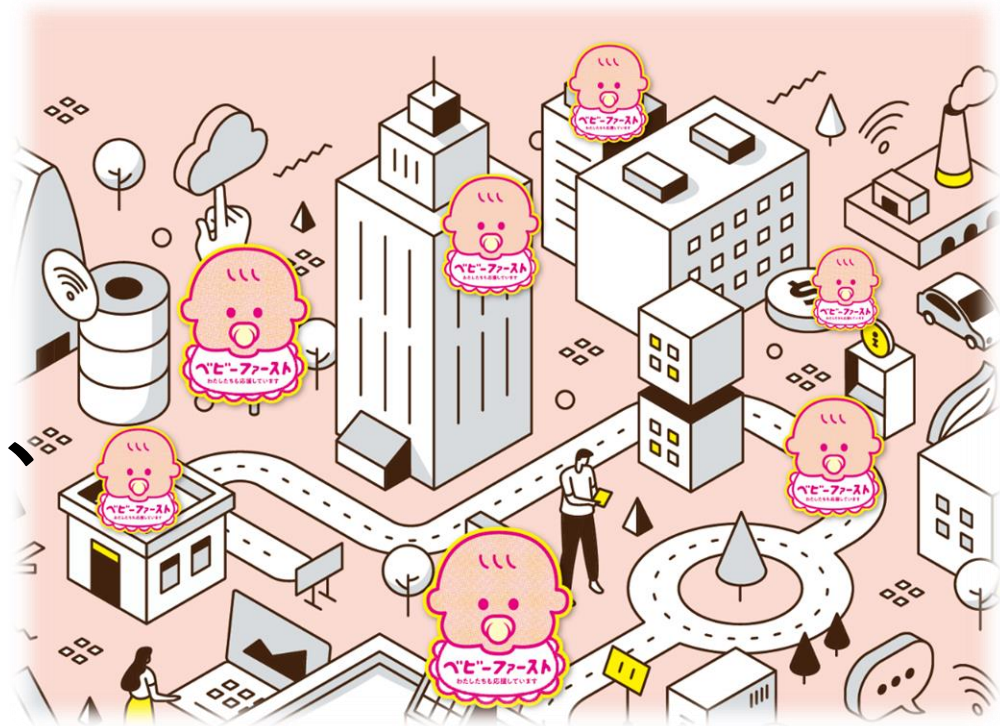


運動のターゲット



子育て世代が
子どもを“産み育てたくなる”社会
を実現するための運動

あらゆる企業や行政の
皆さまを巻き込み、
社会全体の空気感を変えて、
制度を変える



ベビーファースト運動で何をすればいいか



わたしたちの活動宣言

赤ちゃんとお母さんお父さんのために、私ができること。

子どもはみんなの「宝」。
毎日頑張っているパパママに、たくさんの
「ありがとう！」を伝えましょ



やることは、いたってシンプル

- ・企業や行政、個人の皆さんが、赤ちゃんや妊産婦（夫）に対する“やさしい活動宣言”を実施
- ・“やさしい活動宣言”をもとに具体的アクションを
- ・新規でも既にお取り組み頂いている活動も宣言として大歓迎
- ・大切な社員、仲間にもむけての宣言も歓迎

これまでの実績



約160の企業・店舗
30をこえる自治体の参画
具体的アクションの開始

大きな社会潮流になりつつある



中期ビジョン（5年後の姿）

全国各地のあらゆる企業、自治体、個人によって
子供を産み育てやすくする取り組みが実践されて
おり、誰もが子供を産み育てたくなる
社会環境づくり、制度づくりが推進される社会



中期ビジョンへ達成への展開

中期ビジョン

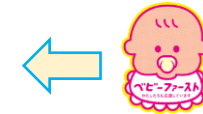
全国各地のあらゆる企業、自治体、個人によって子供を産み育てやすくする取り組みが実践されており、誰もが子供を産み育てたくなる社会環境づくり、制度づくりが推進される社会

2023年度以降

JCおよび社会（企業・団体・自治体・個人）での運動の自走とさらなる社会浸透

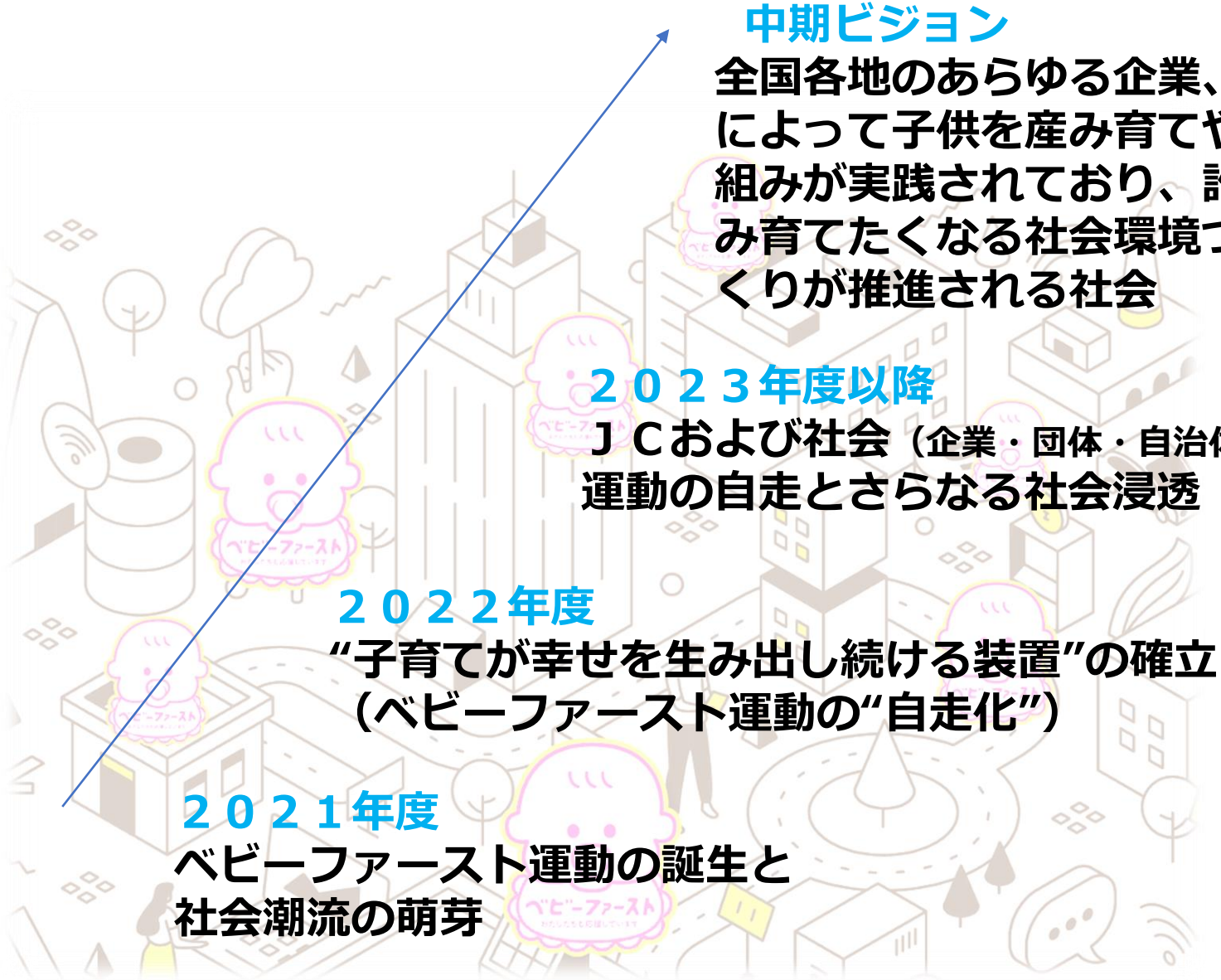
2022年度

“子育てが幸せを生み出し続ける装置”の確立
（ベビーファースト運動の“自走化”）



2021年度

ベビーファースト運動の誕生と
社会潮流の萌芽



2022年度の運動展開

① ベビーファースト共同宣言式

京都会議において、全国知事会平井会長と公益社団法人日本青年会議所
中島会頭による「ベビーファースト共同宣言式」の開催

② 全国の青年会議所への浸透（69 LOMとの連携）

684の地域にまたがる各地青年会議所へのベビーファースト運動推進パッケージ（マニュアル）の作製と各地での運動展開

③ 民間企業への推進（上場企業10社のアクション開始）

社会的影響力のある企業のベビーファースト運動参画推進

④ 行政への推進（47都道府県知事からの活動宣言受領：5/31）

全国47ブロック協議会と連携し、各都道府県知事によるベビーファースト運動の参画推進

⑤ メディアへの推進

6月初旬、大手報道企業と連携し、ベビーファースト運動の存在を社会的に認知させ、希望をもたらし運動として発信



サマーコンファレンス2022 ※協議段階 「ベビーファーストセミナー」開催予定！



■実施日

2022年7月16日（土）16：20～17：20

■実施場所

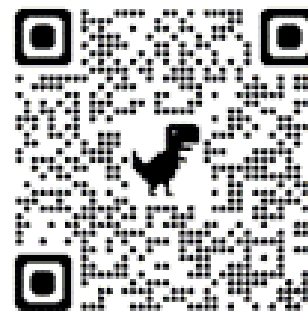
パシフィコ横浜 会議センター ノースG5～ノースG8
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1 及びWEB

※本会での審議前のため、日程や開催方法が変更になる場合があります



詳しい運動内容やご参画はランディングページまで！！

<https://babyfirst.jp/>



赤ちゃんハッピーで、
みんなハッピー。



【お問い合わせ】

公益社団法人日本青年会議所 2022年度 社会グループ

ベビーファースト委員会 総括幹事 大井山 靖征

090-3885-0649 / o.yasumasa@daimatsuseika.co.jp